



お元気ですか！  
志村 たかよし です

日本共産党中央区議団

中央区 築地 1-1-1  
電話 3546-5563  
FAX 3546-9570

# 日本共産党都議団の調査で判明 豊洲市場の主要建物の下で盛り土せず

信頼揺らぐ「土壌汚染対策」

9月7日に行った日本共産党都議団の独自調査によって、豊洲新市場の土壌汚染対策として、盛り土を全面にわたって行う予定が、水産棟や青果棟などの建物の地下で行われておらず、空洞になっていることが明らかになりました。

汚染への不安は高まるばかり

そもそも、豊洲市場予定地は88



調査結果を記者会見する日本共産党都議団=9/12

年まで東京ガス工場が操業していた所です。

01年に石原都知事が築地市場の豊洲への移転を打ち出しましたが、環境基準の4万3000倍の発がん性物質ベンゼンや、猛毒のシアニ化合物、ヒ素などで汚染されていたことが発覚し、都民の「移転反対」の声が高まりました。

そのため、都は「豊洲新市場予定地における土壌汚染対策等に関する専門家会議」（下写真）をたちあげました。

「専門家会議」を何回か傍聴し



水がたまっている地下空間=党都議団撮影



「専門家会議」を傍聴=08. 7. 26. 志村撮影

ましたが、移転前提の議論でした。08年に、工場操業当時の地盤面から深さ2メートルにわたり土を掘り下げ、厚さ4・5メートルの盛り土を行う「土壌汚染対策」を提言しましたが、この提言に対して「そんなやり方で土壌はきれいにならない」など多くの批判が出されてきました。

その不十分な「提言」さえも無視して工事は行われ、建物の下は盛り土が行われておらず、深さ4・5メートルの地下空間となり、底面には碎石層や薄いコンクリートが敷設され、地下水がたまっていたことが明らかになったのです。

## 小池都知事 事実を認める

党都議団の報告をうけ、小池百合子都知事は10日に都庁で臨時の記者会見を開き、「(建物下の)全てが(土壌を)入れ替えた上で盛り土されているというのは、現状では正しくない。訂正させていただきます」と事実を認めました。

## 「改めて検証」と小池都知事

小池知事は、08年に盛り土などの土壌汚染対策を提言した「専門家会議」の委員や、知事が設置するプロジェクトチームで対策の妥



党都議団と豊洲を調査する私(右) = 08年

当性について検証する意向を明らかにしました。

また、情報公開のあり方にも触れ、盛り土をしていない旨の報告を専門家会議にしなかった行政の継続的な問題と、正しい情報を伝えていなかった問題を指摘し、これらがなぜ起こったかについて、「市場の担当者、当時の担当者にも聞かないといけない」と発言しました。

また、「あのままOKを出していたならば、大変な問題になっていたと思う」とも述べました。

## 豊洲新市場開設の展望見えず

今後の移転計画については、客観的な調査結果を受けて「予断を持たずに考える」としました。

豊洲新市場では建物内の大気中からもベンゼンが検出。整備費も5884億円と当初の見通しから大幅に膨れ上がり、市場の業者からは施設の使い勝手が悪いとの指摘も出されています。

築地市場での営業しか「道」はなくなったのではないのでしょうか。

## 「豊洲新市場整備をめぐる重大な問題点と徹底検証のための提言」(骨子)

1. 食の安全・安心にかかわる問題
  - (1) 建物下の盛り土をやらなかった問題の徹底究明を
  - (2) 地下空間活用例の検討は2008年11月の技術会議が発端—事実の徹底解明を
  - (3) 建物内のベンゼン汚染について調査を
  - (4) 地下水管理システムが機能していない問題について検証を
  - (5) これまでの移転推進の知事の下でおこなわれた、市場、環境局および技術会議の土壌汚染対策の対応を全面的に再点検すること
2. 施設の耐荷重不足や使い勝手の問題
  - (1) 施設の耐荷重不足の問題について、設計の経過の検証を
  - (2) 使い勝手の問題について、都の対応に問題がなかったか検証を
3. 豊洲新市場開場後の市場会計の検証
4. 土地購入、市場の整備工事などの契約にかかわる情報の全面公開を
  - (1) 土地取得にあたっての経過の検証と公表
  - (2) 高騰した土壌汚染対策工事費および施設建設工事契約について、要因の究明を  
〈土壌汚染対策工事の談合疑惑の究明〉  
〈各売場棟の建設工事が予定価格の99.9%など建設費が高騰してきた経過の検証〉

日本共産党東京都議団が9月12日に発表した「豊洲新市場整備をめぐる重大な問題点と徹底検証のための提言」の骨子を紹介します。